

「つくりば つくるば」でJR宇美駅前広場に賑わいを うみつくる研究所主催

令和4年11月12日(土)に宇美町の「つくる」をテーマにした物・事・食の集いの場「つくりば つくるば」がJR宇美駅前広場で開かれました。

「身近な材料を“うみつくる”の視点で活用してみる」をテーマに、マイクロバスを工房風に改造したスペースでは、子どもたちを対象にしたワークショップも開かれ、多くの子どもたちが木工細工を楽しみました。

宇美町の名物も多数出店され、訪れた皆さんは次回開催を心待ちにされているようでした。



荒廃竹林から切り出した竹を使った露店のテント



射的コーナーで子どもたちも大喜び



出張木工教室ができるウッドワーキングバス

イルミネーションでまちを明るく JR宇美駅前・塔ノ尾公園



宇美駅前のイルミネーション



宇美商業高校生によるシャッターアート



塔ノ尾公園のイルミネーション

宇美駅前

宇美町商工会主催の『うみ「駅サイティング」クリスマスイルミネーション』が令和4年12月3日(土)に点灯されました。

当日は、おでんやホットワイン、コーヒーなど寒い季節にぴったりの飲食や、おしゃれな雑貨が並ぶ「駅Cafe」が開催されました。

また、駅前飲食店のシャッターに宇美商業高校の生徒が描いた「シャッターアート」も披露されました。

香椎線から降りてきた学生たちから「宇美町独自のほっこりとした輝きに癒される」といった声が聞こえてきました。

また、障子岳地区の塔ノ尾公園には、地元有志によるイルミネーションが輝き、訪れた方々を楽しませていました。



駅カフェ

Withコロナ時代に まちに賑わいを

新型コロナウイルス感染症の第7波と第8波の合間に、これまでの自粛ムードからまちに賑わいを取り戻そうと、宇美町共働事業をはじめとした多くの事業が行われました。

Withコロナ時代を踏まえ、まちづくり活動をされている方々が、さらに活動しやすくなるよう、支援に取り組んでいきます。

～スポーツならどんな障がいも乗り越えられる～ 第1回宇美町スポーツフェスタ

宇美町スポーツ協会、宇美町スポーツ少年団、ふみの里スポーツクラブ、宇美町スポーツ推進委員連絡協議会の4団体で組織する実行委員会主催の第1回宇美町スポーツフェスタが開かれました。

令和4年11月26日(土)の前夜祭では、宇美太鼓による力強い演奏に引き続き、デフサッカー(聴覚障がい者のサッカー)日本代表GKで、宇美町在住の松元卓巳さんを講師に迎え、スポーツ講演会が行われました。

27日(日)には、デフサッカーとアンプティサッカー(肢体不自由者のサッカー)の体験会・障がいがある方や高齢者も楽しめるポッチャ・風船バレーボール等の軽スポーツ体験交流会も開かれ、参加者は皆さん楽しんでいました。



松元卓巳さんのスポーツ講演会



小さなお子さんも楽しめるシャフルボード



松葉づえで行うアンプティサッカー



松元選手とPKで真剣勝負

宇美神楽が第64回九州地区民俗芸能大会に出場 あなたの手で継承しませんか



宇美神楽保存会のみなさんは、活動を多くの町民の皆様から知っていただき、ぜひ担い手になってほしいと日々活動に取り組んでいます。

昭和48年に福岡県の無形民俗文化財に指定された宇美神楽が、令和4年11月13日(日)に沖縄県浦添市のアイムユニバースでこホールで開催された、第64回九州地区民俗芸能大会に県代表として出場しました。

宇美神楽は、宇美八幡宮の春の「子安大祭」と秋の「放生会」に、神楽殿で奉納されています。